

令和8年度採用 小豆島町地域おこし協力隊員 募集要項

豊かな自然に恵まれた小豆島で、あなたの知識と経験を活かしませんか？小豆島町を舞台に、夢を描きその実現に向けて活動できるバイタリティあふれる「地域おこし協力隊」を募集します。

小豆島町は、瀬戸内海国立公園の東部に浮かぶ小豆島の中央から東に位置し、歴史ある醤油・佃煮・素麺・オリーブなどの地場産業や伝統文化を脈々と受け継ぐ海と山に囲まれた自然豊かなまちです。

また、最近では、瀬戸内国際芸術祭や多くの映画の舞台となっていることなどをきっかけに、多くの若者が住むまちでもあります。人口減少や少子高齢化が進み、地域の担い手不足が深刻な課題となっています。

そのような中、新たな視点で小豆島町の魅力を発見し、地域住民と連携して地域課題の解決に従事するとともに、小豆島町へ移住定住し、実践・起業を目指す「地域おこし協力隊」を募集します。

1 募集人員

地域おこし協力隊員 1名

2 活動の種類

中山棚田保全推進員

※詳細は別表1をご覧ください。

3 募集対象（募集条件）

(1) 年齢 問いません

(2) 性別 問いません

(3) 住所 現在、三大都市圏をはじめとする都市地域等に居住し、任命後、小豆島町内に生活拠点を移し住民票を異動できる方

(4) パソコンの基本的な操作（Microsoft Office 等）のできる方

(5) 普通自動車運転免許を有しており、日常の運転に支障のない方

(6) 地域になじむ意思を有し、地域住民や関係団体などと連携・協力しながら、協力隊の活動に意欲と情熱をもって取り組める方

(7) 心身ともに健康で、誠実に業務ができる方

(8) 地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない方

(9) 任期終了後も小豆島町に定住し、就業・起業する意欲のある方

4 活動区域

小豆島全域

5 活動時間

1日7.5時間 週5日（37.5時間）の活動を想定しています。

*活動時間帯は、活動内容によって変動します。

6 任用形態・期間等

- (1) 小豆島町の「会計年度任用職員」として任用します。
- (2) 任用期間は、令和8年5月1日から令和9年3月31日を予定していますが、活動に取り組む姿勢や成果等を勘案し、毎年度4月に更新し、最長3年まで期間を延長することができます。

7 報酬・手当等

- (1) 中山棚田保全推進員（週5日／7.5時間勤務） 月額 201,677円
- (2) 期末・勤勉手当有り（6月・12月）

8 待遇・福利厚生等

- (1) 社会保険（健康保険、厚生年金、雇用保険）に加入します。
- (2) 活動地域内又は町内の住居に関する情報をご提供します。
- (3) 家賃については月額上限5万円まで町が負担します。
- (4) 活動に必要な経費（家賃、車両リース料、燃料費、旅費、消耗品、備品等）を予算（約200万円）の範囲内で町が負担します。

※ひと月の報酬と待遇・福利厚生の事例（令和8年度）

報酬	201,677円（個人負担分の社会保険料は天引き）
家賃	上限50,000円（町が負担）
車両のリース料	約32,000円（町が負担）
車両の燃料代	約7,200円（町が負担）
その他活動に必要な経費等	（例）研修参加費やパソコン、カメラなど（町が負担）

9 応募手続

- (1) 申込受付期間
令和7年12月24日（水）から令和8年2月27日（金）15時まで
- (2) 提出書類
所定の応募用紙に住民票、運転免許証の写しとその他PR資料（任意の様式でかまいません）を添付のうえ、小豆島町ホームページ「地域おこし協力隊を募集しています」のページにある応募フォームから申し込むか、小豆島町企画財政課に郵送・持参してください。

10 選考の流れ

- (1) 審査方法
 - （第1次選考）
書類審査の上、合否結果を応募者全員に文書またはメールで通知します。
 - （第2次選考）
第1次審査合格者について面接審査を行います。日時等は第1次審査結果を通知する際にお知らせします。
選考日：令和8年3月中旬頃（予定）
※オンラインによる面接も可能です。
※面接による選考に要する経費・交通費は、応募者の負担となります。

11 その他

(1) 現在活動している隊員

※現在17名の隊員が活躍しています。詳細は小豆島町ホームページ「地域おこし協力隊員の紹介」ページをご覧ください。

◆問い合わせ・送付先◆

小豆島町企画財政課 企画調整係 山本

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44番地95

TEL：0879-82-7000

FAX：0879-82-7023

E-MAIL：olive-kikaku @town.shodoshima.lg.jp

中山棚田保全推進員

活動業務のテーマ	棚田の保全活動
活動の概要	<p>「日本の棚田百選」にも選ばれている中山千枚田。農村歌舞伎など地域文化の基軸となっているこの美しい棚田は、担い手不足により、荒廃田が増加し、景観保全や伝統文化継承の危機に直面していました。</p> <p>将来を危惧した地域住民は、行政と連携し、「中山棚田協議会」を発足させ、棚田を中心とした持続可能な地域社会を目指し保全活動を行ってきました。協議会や地域住民の努力の結果、現在でも一定の景観と棚田の機能が保たれています。</p> <p>そのような取り組み等が国際的に評価され、小豆島町は 2021 年版「世界の持続可能な観光地 TOP100 選」に選出されました。</p> <p>しかし、今後、地域の担い手不足はより一層拍車がかかることが予想されるため、継続的な地域資源の保全・活用を図り、持続可能な棚田保全を確立する必要があります。</p>
具体的な活動内容	<p>○棚田保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専属保全員の指導を受け、ともに棚田の耕作、石積の修繕、景観保全等に従事 ・持続可能な棚田保全方法（棚田を活用した儲かる農業等）を検討・試行 ・大学、企業、個人などが棚田の保全活動を行う場合のサポート <p>○定住準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業終了後、起業又は農業等に従事し定住する意欲を持ち、それに向けた地域や関係団体と良好な関係を構築 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、棚田活性化に関すること全般
必要な資格や経験 ※③ 募集対象（募集条件）に加えて	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい原風景の形成、伝統文化の継承に興味があり、意欲と情熱を持って活動できる方 ・体力に自信があると同時に、コミュニケーション能力に長けている方 ・農業経験者優遇